

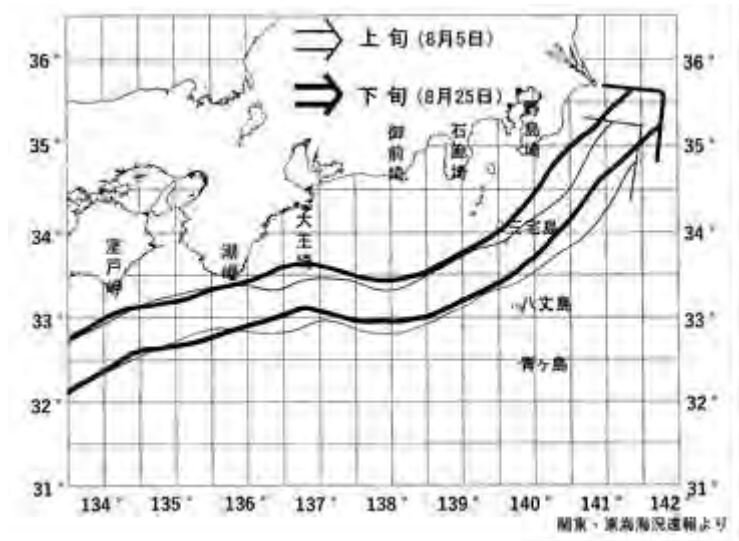
漁海況月報

令和8年8月1日

No. 8 ～8月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



8月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	26.9	27.2	26.5	25.3	26.9	27.0
	2.0	2.9	2.5	-0.4	0.8	1.2
中旬	26.9	27.0	26.8	26.2	26.3	26.5
	1.3	2.1	2.2	0.0	0.1	0.3
下旬	26.7	26.5	26.2	26.8	28.5	26.6
	1.1	1.2	1.2	0.7	2.3	0.3
月	26.8	26.8	26.5	26.1	27.3	26.7
	1.4	2.0	1.9	0.1	1.1	0.6

*平年値：過去30年(平成3年～令和2年)の平均値

【黒潮流路】

月を通して、潮岬沖33.0°N付近を東進し、八丈島の北を北上するN型基調の流路で推移した。

上旬は、潮岬沖から御前崎沖まで東進した後、三宅島の南を通過し、北東へ流去した。潮岬東側の黒潮東進部から北東へ暖水波及が見られた。

中旬は、潮岬沖から石廊崎沖まで東進した後、三宅島のやや南を通過し、北東へ流去した。顕著な暖水波及は見られなかった。

下旬は、潮岬沖から御前崎沖まで東進した後、三宅島を通過し、北東へ流去した。顕著な暖水波及は見られなかった。

【沿岸域水温】

上旬は稲取、下田で「極めて高め」、伊東で「高め」、沼津、焼津で「やや高め」、雲見で「平年並」であった。中旬は稲取、下田で「高め」、伊東で「やや高め」、雲見、沼津、焼津で「平年並」であった。下旬は沼津で「高め」、伊東、稲取、下田、雲見で「やや高め」、焼津で「平年並」であった。

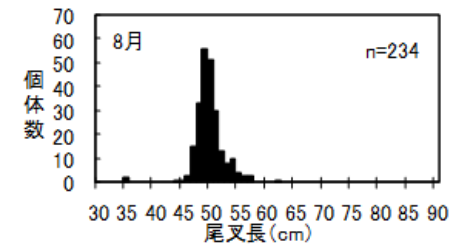
【竿釣カツオ】

8月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは33.9トンで前年同月(9.7トン)の3.5倍であった。平均単価は567円/kgで前年同月(562円/kg)並であった。

漁場は33°N、140°Eの八丈島周辺などで、8月19日に御前崎港で実施した市場調査では、大室出しにおいて漁獲されたカツオの尾叉長組成は小(尾叉長49cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期 間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R8年8月上旬	5.0	5	1.0	820
	10.0	3	3.3	716
	18.9	13	1.5	421
R8年8月計	33.9	21	1.6	567
R7年8月計	9.7	7	1.4	562
R6年8月計	59.7	25	2.4	415



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は187.9トンで、前年(192.7トン)の98%、平年(312.5トン)の60%であった。また、1か統当たりの水揚量は26.8トン(前年：27.5トン、平年：44.6トン)であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(51.1トン、マルソウダ、ヤマトカマス、さば類)、次いで伊豆山漁場(37.4トン、ヤマトカマス、さば類、マアジ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、マルソウダは59.6トン(前年比4.8倍、平年比3.0倍)、ヤマトカマスは51.3トン(前年比8.2倍、平年比3.1倍)であった。さば類は34.6トン(前年比45%、平年比25%)で、水揚げされたさば類のうち、マサバは0.7トン(前年比47%、平年比10%)、ゴマサバは24.2トン(前年比33%、平年比20%)、さばっこは9.6トン(前年比4.6倍、平年比92%)であった。マアジは12.0トン(前年比34%、平年比36%)、ブリは5.6トン(前年比1.6倍、平年比35%)で、銘柄わかし主体であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マルソウダでは古網漁場が52%(30.9トン)、川奈漁場が22%(12.9トン)、ヤマトカマスでは伊豆山漁場が30%(15.2トン)、北川漁場が25%(12.8トン)、赤沢漁場が19%(9.8トン)、古網漁場が18%(9.0トン)、さば類では川奈漁場が31%(10.6トン)、北川漁場が28%(9.6トン)、伊豆山漁場が15%(5.3トン)、マアジでは伊豆山漁場が38%(4.6トン)、古網漁場が26%(3.1トン)、赤沢漁場が16%(2.0トン)、ブリでは伊豆山漁場が56%(3.1トン)、古網漁場が16%(0.9トン)であった。

*平年：昭和57年～令和7年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場				
魚 種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マルソウダ	59.6	4.81	2.95	古網、川奈
ヤマトカマス	51.3	8.16	3.10	伊豆山、北川、赤沢、古網
さば類	34.6	0.45	0.25	川奈、北川、伊豆山
マアジ	12.0	0.34	0.36	伊豆山、古網、赤沢
ブリ	5.6	1.63	0.35	伊豆山、古網

〔まき網（さば類）〕

県内3港（伊東、沼津、小川）のまき網による水揚量は、マサバ27.0トン（前年同月比12.4倍）、ゴマサバ308.4トン（前年同月比1.3倍）であり、1か統当たり水揚量（CPUE）はマサバ0.6トン（前年同月比10.3倍）、ゴマサバ6.6トン（前年同月比1.1倍）であった。平均単価はマサバ218円/kg、ゴマサバは249円/kgであり、いずれも前年同月（マサバ：187円/kg、ゴマサバ：191円/kg）を上回った。

3港のさば類水揚量							
漁 港	水揚量（トン）		水揚統数	水揚量/統（トン）		平均単価（円/kg）	
	マサバ	ゴマサバ		マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ
伊 東	10.1	32.4	11	0.9	2.9	241	154
沼 津	16.9	225.8	33	0.5	6.8	204	250
小 川	－	50.2	3	－	16.7	－	304
R8年8月 計	27.0	308.4	47	0.6	6.6	218	249
R7年8月 計	2.2	237.8	39	0.05	6.1	187	191
R6年8月 計	9.6	130.8	56	0.2	2.3	142	171

＊水揚量については、港ごと、旬ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。
＊CPUE（1か統当たり水揚量）の算出に船団規模は考慮していない。

〔まき網（いわし類）〕

マイワシの水揚量は、沼津港では1.5トン（前年同月比3%、平年同月比10%）で、伊東港、小川港、静岡港では水揚げがなかった。
カタクチイワシは、小川港、沼津港、伊東港、静岡港では水揚げがなかった。
伊豆半島東岸の大型定置網7か統では、マイワシ、カタクチイワシの水揚げはなかった。
＊平年：過去5か年（令和3年～令和7年）の平均値

〔シラス船曳網〕

県内7港の水揚量は780.9トンで、前年同月（179.9トン）の4.3倍、平年同月（過去5か年平均：207.6トン）の3.8倍であった。また、1日1か統当たりの水揚量は445kgで、前年同月（144kg）の3.1倍、平年同月（172kg）の2.6倍であり、海域別では、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が467kg、駿河湾（吉田、用宗、由比）が429kgであった。
平均単価は620円/kgで、前年同月（1,625円/kg）の38%、平年同月（1,353円/kg）の46%と前年同月、平年同月を共に大きく下回った。 ＊平年：過去5か年（令和3年～令和7年）の平均値

漁 港		水揚量(ト)	延日数	延統数	平均水揚量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
遠州灘	新 居	40.1	9	87	461	500
	舞 阪	157.1	10	367	428	564
	福 田	69.7	8	182	383	762
	御前崎	81.6	14	110	742	555
駿河湾	吉 田	198.2	16	364	544	559
	用 宗	202.8	18	379	535	713
	由 比	31.4	13	264	119	683
R8年8月 計		780.9	88	1,753	445	620
R7年8月 計		179.9	73	1,247	144	1,625
R6年8月 計		35.8	37	556	64	1,537

＊各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

〔調査船駿河丸の動向〕

8月 3日 ～ 8月 4日 地先定線観測調査 (2日間)
8月 24日 定期検査兼ペンドックのため造船所回航 (1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ
トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>
海洋情報のページ……… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>
右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、
関東・東海海況速報等を見ることができます。

